

保存版

※家庭学習強化週間以外でも活用します。大切に保管しましょう。

家庭学習のすすめ

家庭を学びの環境に

生活にリズムを！



「早寝早起きをする」「朝食をきちんと食べる」など、規則正しい生活リズムが日々の子どもの生活を充実させ、家庭学習の習慣化につながります。

「がんばり」を見のがさずに！



子どもの学習をしっかりと見届け、必要な声かけを行いましょう。ねばり強い努力をほめましょう。

学習時間を決めて！



最初は短く、だんだん長く。テレビを見ながら、音楽を聴きながら、ゲームをしながら、お菓子を食べながらなど、「ながら勉強」にならないようにしましょう。

進んで学ぶ好奇心を！



身のまわりや社会の出来事に関心が向くように働きかけましょう。PTA行事や地域行事への参加をすすめましょう。

読書に親しむ！



まずは家庭での読書や読み聞かせをしてみましょう。学校図書館や町立図書館、書店で本との新しい出会いも良いものです。

情報(インターネット)との正しい付き合い方を！



パソコンや携帯電話端末などは役立つとても便利な道具ですが、同時に危険性もあわせ持っています。ルールを守り、家族(保護者)が居るところで正しく使わせましょう。

一緒に家事を！



家族の一員としての責任感と自立心を育てましょう。家族が協力して家事を行うことで、それぞれの大切さを学びます。

先生と連絡を！



わからないこと、困ったことは、遠慮せずに先生に相談しましょう。子どものことを、先生と一緒に考えてみましょう。

新宮町教育委員会

学校名

氏名

保護者の皆様へ

「確かな学力」の土台は基本的な生活習慣と学習習慣の確立

学校も家庭も、子どもたちのよりよい成長・発達という点では、同じ願いをもっています。

「確かな学力」を身に付ける場は学校です。学校では、日々の授業を通して、基礎・基本とともに課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力などを身に付けさせようとしています。子ども一人一人に「確かな学力」を身に付けるために、教員は自分の授業力の向上を目指して研修を重ね、「わかる授業」を実践しています。

「確かな学力」を身に付けるためには、授業の充実とともに、家庭での子どもの基本的な生活習慣や学習習慣などの確立が大切になります。中でも、家庭学習の習慣化は、学力の要素である「学習意欲」や「ねばり強く課題に取り組む態度」を支える基盤になります。家庭生活の中で、宿題や予習・復習という形で学習を補うと、学びが連続し、学習内容が確実に定着します。

家庭学習の習慣化のためには、子ども自身の努力はもちろん、学校と家庭とが連携・協力して取り組むことが大切です。学校も家庭も、それぞれの役割を十分に理解しながら、子どもたちのよりよい成長・発達のために、一緒に家庭学習習慣の確立に努めていきましょう。

保護者の皆様にも以上の趣旨をご理解いただき、子どもたちの家庭学習がさらに充実するように、本冊子をご活用いただければ幸いです。

新宮町教育委員会

目次

子どもの「学ぶ力」は 家庭学習から育まれます	2頁
小学校1・2年生 ～基本的な学習習慣をきちんと身に付ける～	3頁
小学校3・4年生 ～自ら机に向かう姿勢を育てる～	4頁
小学校5・6年生 ～自ら予定を立て、自力で学習を進める～	5頁
中学校1・2年生 ～計画的・継続的な学びを進める～	6頁
中学校3年生 ～励まし、自分の目標を明確にもたせる～	7頁

子どもの「学ぶ力」は

家庭学習から育まれます

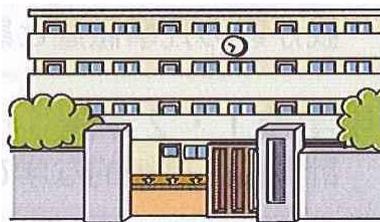
実際に、家庭学習に励んでいる子どもたちは、自分に自信をもち、積極的にあらゆる学習に取り組んでいる子どもが多いです。もちろん、「学ぶ力」を育てることは学校教育の重要な役割です。しかし、家庭での関わり方によって、その育まれ方は大きく変わります。

下の図のように、家庭（保護者）と学校（教師）とが「家庭学習」を通して連携・協力し合うことが、子どもたちの「進んで学ぶ力」と「心身の健康」を育てていくのではないのでしょうか。

家庭と学校とが連携・協力し合って 子どもの「学ぶ力」を育てましょう



連携・協力



家庭が心がけること

- 生活リズムを整え、決まった場所と時間で、**学習に集中できる環境**を
- がんばりを褒め、励まし、認め、対話のある**温かいふれあい**を

学校が心がけること

- わかる授業を心がけ、基礎学力を身に付けさせ、学び方を教え、主体性を育てる**学習指導**を
- 子どものよさを生かした**家庭学習の提案**を

家庭学習の内容は？

内容

- 宿題
- 予習・復習
- 興味・関心のあることを**追求する自主的な学習**

与えられた課題をこなす学習から、自分で目標を設定し、それに向けて取り組む学習へ

家庭学習の時間のめやすは？

時間

めやすは15分×学年
(中1は“7”として計算)



めあて: 基本的な学習習慣をきちんと身に付ける

「成長」や「学び」の特徴

- 一人で学習の内容や方法を決めることはまだ無理です。家族の手助けが欠かせません。
- 「やったね!」「よくできたね!」まわりのほめ言葉が、すばらしい意欲を生み出します。
- いろんなことに興味・関心を持ち、何でも知りたがります。
- 「早寝早起き」「しっかり朝食をとる」「朝の排便」「正しい姿勢で座る」などの基本的な生活習慣が身に付くと、学習習慣も身に付きます。

学習内容の特色(学校で)

- 「読み、書き、計算」など、基礎的・基本的な学習が始まります。
- 教科ごとの45分間授業が基本です。先生の話をしっかり聞いて学習します。
- 生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりします。
- 繰り返し練習することで、力のつく学習内容がたくさんあります。
- 「鉛筆を正しく持つ」「明日の学習を準備する」「整理整頓をする」も、基本となる学習です。



家庭学習のポイント!!

その1 最後までやり終える! ~家族も一緒に根くらべ~

「宿題は最後までやること」を守らせましょう。家族から見えるところで学習させ、最後までやったかどうかを必ず家族の目で点検しましょう。テレビやゲームも、時間のけじめをきちんと守らせましょう。ねばり強く働きかけることが大切です。

その2 子どもにも家事を! ~高学年・中学生になっても~

家庭で、子どもにできる仕事を見つけてください。家族の一員としての自覚が育つとともに、学習に必要な持続力、集中力、根気などが育まれます。こうした家事の分担は、学年が上がっても続けてほしいことです。

その3 子どもが見ている! ~子は親のうしろ姿を見て育つ~

大人が、お手本となるような「学ぶ」姿勢を見せましょう。家族ぐるみでよりよい学習習慣づくりに努めることが大切です。読書はとても効果的です。

~子どもたちへ~

- つくえの上をきちんと片付けましょう。
- 学習に必要な道具をそろえましょう。
- 学校からのプリント類を確かめ、宿題やお家の方へ渡すものなどを確認しましょう。

こんな家庭学習をしてみよう!!

※はお家の方が参考にしてください。

宿題は...

全部するようにしよう。 ※宿題をやり終える子どもにしましょう。低学年のうちは、お家の方の見守り(アドバイス)が必要です。

国語では...

- ひらがな・カタカナ・漢字の練習は、お手本を見て、正しく書けるようにしましょう。(漢字練習)
- 教科書などを、進んで声を出して読みましょう。暗唱できるくらいに読みましょう。(音読) ※聞いてあげてください。
- 好きな本や教科書の文などをノートに写していいいに書きましょう。(視写)
※句読点や、一字下げに気を付けて写しているかを見てあげてください。
- おもしろかったことなどを文に書きましょう。絵日記にしたり、手紙にしたり、いろいろな書き方を工夫しましょう。(作文)
※読んで感想や返事を書いてあげてください。

算数では...

- 速さを競わずに、楽しみながら計算に慣れるようにしましょう。正しく計算ができるようになれば、少しずつスピードを上げて練習してみましょう。(計算)
- たし算やひき算のお話(問題)を作りましょう。(問題作り) ※問題に答えてあげてください。買い物に出かけるのもよいです。

他にはこんなことを...

- 昔話の本や科学的なことについて書いた本など、いろいろな読み物をたくさん読みましょう。
- いろいろなことに対して、「なぜだろう?」と思う気持ちももてるようになろう。 ※なるべく子どもの疑問に答えてあげてください。

めあて：自ら机に向かう姿勢を育てる

「成長」や「学び」の特徴

- 自立心が芽生え、自分でやろうとすることが多くなりますが、まだ手助けは必要です。
- 好奇心が旺盛で、行動範囲も広がります。
- みんなと行動することを好むとともに、口答えや反抗が少しずつ見られるようになります。
- 家族の温かい助言や励ましの言葉が、やる気を起こさせます。

学習内容の特色(学校で)

- 「総合的な学習の時間」や「社会科」「理科」の学習が始まり、学習範囲も大きく広がります。
- 地図帳、辞典などを使い、調べ学習をすることが多くなります。
- 新しい漢字を、たくさん習います。(3・4年生とも200字ずつ)
- 算数では、分数や小数など、少しずつ抽象的な内容を学び始めます。
- 四則計算(+・-・×・÷)の基礎・基本を徹底して学びます。



家庭学習のポイント!!

その1 宿題以外の学習にも挑戦！ ～すすんで学ぶ好奇心を～

宿題以外の自主的な学習に積極的に取り組ませ、家庭学習のレベルアップを図っていくと良いでしょう。そのためにも、身のまわりの自然や社会の出来事にも目が向くように働きかけましょう。家事を分担し、進んで行くことも、りっぱな学習です。

その2 テレビやゲームは、時間を決めて！ ～家族の協力を～

テレビやゲームを夢中になって、時間がだらだらと長くなることがあります。けじめをつけさせることが、自律心や学習への集中力を育てることに也有利于です。根負けせずに、アドバンスし続けましょう。また、親のテレビを見る姿勢も大切です。

その3 ほかに子どもと比べない！ ～「がんばり」を本気でほめる～

学習に少しずつ個人差が出てくる頃です。友だちや兄弟・姉妹で成長を比べることは避けて、「がんばり」を見逃さず、本気でほめましょう。

～子どもたちへ～

- 言われる前に自分から進んでやりましょう。
- 机の上を片付け、テレビや音楽を消して勉強しましょう。
- 学校からのプリント類をお家の方に渡しましょう。
- 答え合わせをして、まちがいを直しましょう。

こんな家庭学習をしてみよう!!

※はお家の方が参考にしてください。

宿題は・・・

なるべく自分の力で全部できるようになろう。 ※子どもの力に合った内容や量になっているか、必要な時は、先生とも相談してみてください。

国語では・・・

- 漢字・ローマ字の練習は書き順、読み、送り仮名に注意して正しく書きましょう。文字の組み立ても考えながら練習しましょう。(漢字練習)
- 声の大きさ・速さ・間の取り方に気を付けて、気持ちや様子が表れるように読みましょう。(音読)
- その日にあったことを、組み立てを考えて、つなぎ言葉も使って書きましょう。(作文)
- 教科書に出てきた言葉の意味を調べたり、その言葉を使って文章を作ったりしてみましょう。(国語辞典・漢字辞典の活用)

算数では・・・

- 繰り返し練習しましょう。計算の仕組みも考えながら計算しましょう。少しずつ速く計算ができるようになろう。(計算)
- 式を立ててから、問題を作りましょう。身のまわりの出来事を問題にしてみましょう。(問題作り)
- 定規やコンパスなどに慣れるように、普段の生活の中でもどんどん使ってみましょう。(定規などの活用)

他にはこんなことを・・・

- 物語や詩の本、歴史や科学の本、スポーツの本など、いろいろな種類の本を読みましょう。
- 地域の行事や子ども会の活動などの学びの場に積極的に参加しましょう。

めあて：自ら予定を立て、自力で学習を進める

「成長」や「学び」の特徴

- 一人前に接してもらっているか、大切にされているかなど、大人の評価が気になります。考える力も大人並みになります。
- 自分を客観的に見つめたり、友だちと自分を比べたりするようになります。
- 得意な教科と苦手な教科を意識し始めます。
- 先生や家族のアドバイスにより、学習に対する意欲や興味・関心が大きく左右されます。

学習内容の特色(学校で)

- 小学校の学習のまとめをして、中学校につなげる大切な学年です。
- 「家庭科」の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。
- 学習内容が多くなる上に、社会や世界に目を向けた学習もします。
- 筋道立てて考える論理的な内容の学習や抽象的な内容の学習が増えてきます。
- 自分で課題を見つけ、解決していく学習(問題解決的な学習)が多くなります。
- 自ら学ぶことの面白さや楽しさを経験させ「学び方」や「ものの考え方」を育てます。



家庭学習のポイント!!

その1 予定を立て、計画的な学習を！ ～勉強時間を決めて～

その日の予定を立て、見直しをもって学習させましょう。必ず学習する時間帯の設定をさせましょう。最初は、予定通りできないこともあります。長い目で見守りましょう。

その2 今一度、基本的な生活習慣の見直しを！ ～生活にリズムを～

「早寝早起き」「朝食をとる」「朝に排便を済ませる」「テレビやゲームの時間を決める」など、中学校生活に向けて、今一度生活習慣の見直しをさせましょう。

家事の分担も積極的に進めましょう。

その3 目標に向かって努力することの大切さを！

子どもの将来の夢や希望、勉強する目的や勉強方法、学校の学習の様子や親の失敗談などを話題にして、目標をもって努力することの大切さを伝えましょう。

～子どもたちへ～

- 机の上を整理整頓し、学習用具をそろえましょう。
- 集中できる環境にしましょう。
- いろいろな教科の学習をバランスよくしましょう。

こんな家庭学習をしてみよう!!

宿題は・・・

学校での学習を振り返り、教科書やノートを参考にして、苦手な内容もねばり強く取り組むようにしましょう。

国語では・・・

- 学習した漢字を使ってみましょう。漢字の由来や意味も一緒に考えながら覚えましょう。(漢字練習)
- 強弱、速さ、間の取り方を工夫し、気持ちや様子が伝わるように読んでみましょう。(音読)
- 新聞やニュースから興味のある事柄を見つけて意見文(感想や自分の考え)を書いてみましょう。(作文)

算数では・・・

- 分数や小数の計算では、答えが出るまで途中の計算を書き残すようにして、正しくできるまで練習しましょう。(計算)
- 文章問題は自分の考えを図や式、言葉でも説明できるようにしましょう。(文章問題)
- 生活の中で、比例、割合、立体などが使われているものを進んで探してみましょう。(身のまわりの算数的事象)
- わからない問題があってもそのままにせず、時間をかけて粘り強く取り組む姿勢を身に付けましょう。一つの考え方(解き方)だけではなく、他の考え方(解き方)もないのかを考える習慣を身に付けましょう。(思考)

他にはこんなことを・・・

- 古典や伝記、科学、芸術など、読書のジャンルを広げてみましょう。同じ作者の本、同じテーマの本などを読み比べてみましょう。
- 興味・関心のある事や疑問に思った事など、テーマを決めて、自由研究に取り組んでみましょう。

めあて:計画的・継続的な学びを進める

「成長」や「学び」の特徴

いわゆる「思春期」(大人への入り口)といわれる時期です。

- 心と体の成長がアンバランスになりがちで、不安や悩みを抱えやすくなります。
- 家族に依存したいという気持ちと、家族から自立したいという気持ちが混在します。
- 矛盾する大人の態度に反抗的になります。また、仲間や友だちの影響を強く受けます。
- 他人から見た自分を意識し、比べて落ち込んだり、無理に合わせようとしたりします。
- 中学校生活を有意義に過ごすためには、部活動との両立が大切です。



学習内容の特色(学校で)

授業の内容が大きく変わります。

- 教科ごとに先生が変わることに加え、小学校で学習する内容に比べ、質・量ともに、かなり違ったものになります。自分から課題を見つける家庭学習に変化していきます。
- 最初は宿題から、やがて自分自身で勉強方法や内容を工夫して、何をするか自分で考え、決められるようになることが大切です。

家庭学習のポイント!!

その1 予習で工夫を! 復習に重点を!

あらかじめ自分で調べたり考えたりして授業に臨めば、課題を見つける力も付きます。また、その日のうちに教科書やノート、プリントを使って学習のポイントを整理し、思い出すように働きかけましょう。「継続は力なり」です。

その2 学校(先生)のプリントの有効利用を!

学校(先生)のプリントには学習のポイントが整理されています。有効に利用するようアドバイスしましょう。

その3 「急がば回れ」の気持ちで!

問題に取り組んでいて分からない時は分かるところまで戻ってやり直すとともに、間違ったところは必ず見直すことが大切です。先生に相談しても良いでしょう。学習課題をやりきったという達成感と自信が、さらなるやる気を起こします。

～子どもたちへ～

- 「毎日、何時間勉強する」「毎日、問題集を何ページする」など、具体的な目標を立てましょう。
- 学校の時間割に合わせて、予習復習の計画を立てましょう。
- 毎日決まった場所で、決まった時間に勉強しましょう。

こんな家庭学習をしてみよう!!

国語では・・・

教科書を声に出して繰り返し読みましょう。漢字は何回も書いて、へんやつくりを意識して確実に覚えましょう。意味の分からない語句は、国語辞典で調べて確かめておきましょう。小説や物語を読んで、自分の生き方を考えてみましょう。

社会では・・・

復習に重点を置き、重要語句や人物名は書いて覚えましょう。学習した内容を図書館やインターネット等を活用して詳しく調べてみましょう。進んで新聞を読んだり、テレビのニュースを観たりして、学習したことを社会の動きと関連付ける習慣を付けましょう。

数学では・・・

基本となる解き方や考え方を示している教科書の「例題」や「例」を理解し、自分のものにしましょう。学習した内容のワークや教科書の問題を繰り返し学習する(解く)ようにしましょう。様々な形で出題される問題になれるためにも、ワークや問題集などのいろいろな問題を多く解くようにしましょう。

理科では・・・

教科書・ノートの見直しをし、要点をまとめてみましょう。授業で行った実験等について、「目的と方法」や「結果や考察」をそれぞれ関連付けてまとめてみましょう。その際、図やグラフ等の資料を見ながら、なぜそうなるのかを考えるようにしましょう。ワークで重要事項や解き方を確認しながら繰り返し解くようにしましょう。

英語では・・・

新出語(句)と基本文は、声に出しながら繰り返し書きましょう。教科書で習った本文は、まず、声に出して読んでみましょう。読めたら、その意味を日本語で書いて、今度はその日本語を見ながら英文が書けるまで練習しましょう。学習した英語を使って、自分のことについて話したり、書いたりしてみましょう。

めあて：励まし、自分の目標を明確にもたせる

「成長」や「学び」の特徴

まさに、人生の節目の時期です。

- 自らの進学や就職などの進路決定を行う時期がだんだん近づいてきます。
- 「やらなくては」と分かっているが、思うようにならない自分に苛立ちを覚えます。
- 気持ちが不安定になり、大人がかける言葉に敏感になり、ときには反抗することがあります。

進路に関する情報が不足していると、一層不安が募ります。

- 本人も保護者も、学校(先生)などから正しい進路情報を得ましょう。
- 正しい進路情報をもとにして、家族で進路についてよく話し合しましょう。
- 将来を見据えた目標をもつことが、本人のやる気にもつながります。



学習内容の特色(学校で)

- 目先の進路だけを意識すると対策的な学習になりがちです。まず、基礎・基本を確実に身に付ける総復習が必要です。
- 3年生の学習内容は、1・2年生の学習内容とかけ離れて難しいわけではありませんが、3年生の授業の復習と1・2年生の内容の復習をする必要があります。

今一度、家族みんなで生活習慣の点検を!!

その1 朝食は必ずとる!

大切なエネルギー源で脳の働きにも関係します。

その2 睡眠時間はたっぷり!

睡眠不足では疲れがとれません。夜更かしはやめ、明日の生活にベストコンディションで臨めるようにアドバイスしましょう。

その3 計画的に時間を使う!

特に、部活動を引退後は、帰宅してから夕食までの時間を有効に活用して生活リズムを整えましょう。テレビなどの視聴は番組を選び、時間を決めるよう働きかけましょう。分担した家事も続けましょう。

その4 挨拶や会話を大切に!

「おはよう」「いってらっしゃい」「おかえり」の挨拶はもちろん、楽しい会話で、家族の絆を強く感じ取ることができます。

～子どもたちへ～

- 得意な教科は、問題集などでどんどん進めましょう。
- 苦手な教科は、分かるところまでさかのぼってやってみましょう。
- 先生から、自分にあった学習方法をアドバイスしてもらいましょう。

こんな家庭学習をしてみよう!!

まず、ノートを見て、その日の授業を振り返りましょう。

詳しく知りたいことや、わかりにくかったことは、教科書や参考書で確かめましょう。国語の漢字や言葉、英語の単語や文型などは、繰り返し書いて覚えましょう。数学の計算や文章題は、同じ問題や似た問題を問題集で解いてみましょう。社会科や理科では、大切なことをわかりやすくまとめておきましょう。

テスト日をめやすにして、スケジュール管理をしましょう。

定期テストや教科の小テストなど、いつ・何があるかをカレンダーに書き込んでおきましょう。テスト範囲とテスト日までの日数を考えて、その日に何を勉強するかも書き込んでおきましょう。スケジュールをもとに計画的に学習に取り組めたら、カレンダーにチェックを入れておきましょう。

夏休みはこんなことを・・・

1・2年生までの総復習を集中して続ける絶好の機会です。問題集などのページ数と休みの残りの日数から、1日に学習する時間や量を決めて進めます。部活動を引退したら、気持ちを切り替えて計画的な勉強に一層力を入れましょう。

冬休みはこんなことを・・・

進路希望が明確になります。進路を見据えて、ラストスパートです。出題傾向を調べたり、出願資格を確認したりするなど、事前の準備をきちんと行い、進路希望に合った問題集などに挑戦しましょう。

「安らぎ」と「支え」を!

- 家族として、今まで以上に気を遣う時期です。子どものやる気を尊重しながらも、できるだけ家庭学習に関わっていくことが大切です。
- 子どもの将来の夢や希望、就職や進学などについて家族で話し合しましょう。
- 必要などきは、先生とも相談しましょう。
- 休憩時間、家族から出される軽食や飲み物もうれしいものです。

希望進路実現に向けて、学習する内容は?!

1学期【基礎学力充実期】

毎日の授業の予習復習と併せて1・2年生の総復習を確実にいきましょう。基礎・基本の内容を確実に身に付けましょう。

夏休み【学習総整理期】

1年生から3年生の1学期までの学習内容を総復習しましょう。また、不得意教科克服にも努めましょう。

2学期【応用力養成期】

全教科の要点整理と併せて数多く、いろいろな種類の問題(難問等)にチャレンジしてみましょう。希望進路(就職先や進学先)決定の時期でもあります。

3学期【総合力完成期】

全教科の総復習(重要事項、公式等の暗記)と就職・進学試験に出題が予想される問題(過去出題された問題)の練習を重点的に行いましょう。